



「おいしい食べきり運動」を実践し、一人ひとりができることから食品ロス削減に取り組もう！

## ごみにしない！ 3R推進コーナー

【問合せ】 廃棄物対策課 ☎782-0339

### おいしい食べきり運動とは

南魚沼市・魚沼市・湯沢町の2市1町で取り組んでいる食品ロス削減運動です。

### 食品ロスとは

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。日本の食品ロスの量は年間600万トンを超えるといわれています。



### チャレンジ「家庭でできる食べきり実践チェック」

買い物に出かけるときや料理を作るときは、以下のことに気を付けましょう。

- 買い物前に冷蔵庫の確認
- ばら売り、量り売りで必要な分だけ購入
- 週に1回は「冷蔵庫一掃デー」を設定  
(消費期限が近い食材を使い切る日)
- 自分の食べきれる適量を見つける
- いつも捨てていた部分を工夫して食材を使い切る
- 使い切り食べきりを意識して食材の保存方法を工夫

# 一日前プロジェクト(災害に備えて)

【問合せ】 総務課 防災庶務班 ☎773-6660

## トイレ掃除はこまめに。きれいな方が汚されない

東日本大震災(平成23年3月)(福島県新地町 災害当時60代 女性)

避難所ではトイレが問題になる! このことはほかの地域の災害報告などから繰り返し伝え聞いていました。汚れたトイレを使うのはだれにとってもとても不快ですし、衛生面からもよくありません。

だから避難先の中学校では、常にトイレを気にかけていました。プールの水をくんだ衣装ケースとバケツをトイレの近くに並べ、使用後はバケツで流す。そして空になったバケツには衣装ケースから水をくんでおく。紙は流さず、個室に1枚ずつ設置したビニール袋に捨てる。水が少なくなったら衣装ケースにくみ足す。こうしたことを、避難所の開設当初からルールとして決めました。

更に、時間を見つけてはこまめにトイレ掃除をし、清潔を保ちました。特に当番制などにしたわけではなかったのですが、とにかくできるだけきれいに保ったことで、少し汚れたときにさっと掃除してくれる人もいたのではないかと思います。汚れ始めを放っておいたら、限りなく汚れていくだけだったのは間違いないでしょう。

おかげで結構きれいに使ってもらうことができました。「トイレ使用はルールが大事。清潔にしておくのと汚されにくい」ということを体験から学んで実感しています。

